

2026年1月5日

2026年 社長年頭の挨拶

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、新年にあたり、社長の松本 伸弘より従業員に向けて年頭の挨拶を行いましたので、その要旨を下記の通りお知らせします。

記

昨年、当社グループは長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」の実現に向け、「2030年のありたい姿」を改正するとともに、中期経営計画2027（中計27、対象年度：2025年度～2027年度）を策定しました。中計27の2年目に当たる2026年は次の3つの経営方針を掲げます。

本年の経営方針

1. 変動する事業環境を見据えた中期経営計画2027 施策の推進

中計27策定後も外部環境は目まぐるしく変化しており、この変化に対応できなければ市場から脱落しかねません。当社は、中計27で掲げた大型プロジェクトの効果最大化と成長事業のさらなる飛躍に注力しつつ、市場や技術の変化を的確に捉え、必要に応じて施策を柔軟に見直すことで、機会を逃さずスピード感を持って果敢に行動し、目標の達成を目指します。そして、資本市場が期待する資本効率も達成し、全てのステークホルダーの期待に応えていきます。

2. 卓越した技術と生産性向上によるものづくり力の強化

ものづくりの競争力は、他社を凌駕する技術を維持し続けること、生産性を高めコストを徹底的に下げるこことであり、当社が持続的な成長を実現するための根幹です。継承すべき技術はさらに磨き、積極的に変革に取り組んで新たな技術を生み出し、さらに業務効率を改善することで競争力を強化します。これは、生産拠点だけではなく、研究開発、調達、営業、管理部門に至るまで、全部門が一体となることで生み出すことができます。全従業員が自らの業務を「ものづくり」の一部と捉え、現状に満足せず、日々新たな課題に挑戦することが、従業員と会社の成長につながります。

特に2026年は、技術開発のスピード向上を重点課題とします。市場や顧客のニーズは日々変化していく、これらの動向をいち早く察知し、競合よりも早く、より的確に製品やサービスを提供することが求められます。そのためにも、部門横断の連携を強化し、意思決定や実行のスピードを高めていきます。

3. 経営基盤の強化

安全、環境、コンプライアンスは安定した事業運営に必須の要素です。

従業員一人ひとりには、ご自身と仲間の安全を常に最優先とし、危険を察知する力を高め、日々の安全確保を強くお願いします。今年は、これまでの延長ではない今一步踏み込んだ積極的な取り組みを推進します。

環境保全では、引き続き環境リスクの低減に取り組むとともに、カーボンニュートラル社会の実現に向けた温室効果ガス（GHG）削減や低炭素貢献技術の開発も進めます。企業活動の基本であるコンプライアンスは、法令遵守と倫理的行動に努めます。法令とその思想を理解し、モラルを向上し、一人ひとりが自らの行動に責任を持つことが重要です。

また、持続的な成長を実現するための基盤である人的資本経営も強化します。多様な人材が集い、従業員が成長し、意欲を持って活躍できる職場づくりを実現するため、エンゲージメントサーベイを活用するとともにスキルセットの強化を推進します。

最後に、厳しい事業環境を乗り切るには、現状からより良く変えていく努力を労使ともに継続していくことが欠かせません。より良い会社の実現をともに目指しながら、これまで築き上げてきた信頼関係をさらに強固にし、労使一体で目標達成に向けて取り組みます。

＜本件に関する報道関連のお問い合わせ＞

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705